

## 第5回「全国自治体ICTサミット2013」について(報告)

2013/12作成

慶應義塾大学SFC Open Research Forum 2013において、全国の市町村の長が集まり、第5回「全国自治体ICTサミット2013～モバイルデバイスが自治体にもたらす変化とは～」が開催されました。

本サミットは、情報化を真に市民に役立つものとするために、自治体が主体となって進めるべき情報活用のあり方を考え、連携して行動することを目的としています。

慶應義塾大学では、東日本大震災の被災自治体調査を通じて、災害復旧時の携帯電話の役割に関する研究を進めています。今回は、この調査研究を基に、平時におけるモバイルデバイスの利活用のあり方を議論しました。さらに、地域情報化研究コンソーシアム活動の一環として実施した、「自治体アプリコンテスト」の大賞作品の表彰を行いました。

【日 時】2013年11月22日(金) 12:00-13:30

【場 所】東京ミッドタウン・カンファレンス SFC Open Research Forum

【参 加】首長参加6、代理参加12、計18自治体 会場参加者約120名

登壇者(敬称略) : 布施 孝尚(登米市長) 牧野 百男(鯖江市長)  
服部 信明(茅ヶ崎市市長) 草間 吉夫(高萩市長)  
武久 顕也(瀬戸内市長) 岸本 英雄(玄海町長)  
石井 恒男(藤沢市副市長)



<登壇首長>

### 12:00-13:30 (90分) 全国自治体ICTサミット2013

◇総務大臣挨拶

◇プレゼンテーション「自治体におけるモバイルデバイス活用の可能性」  
登米市 布施市長/鯖江市 牧野市長/茅ヶ崎市 服部市長

◇登壇首長によるディスカッション

◇まとめ&「自治体ICTプロジェクト」分科会等活動報告

◇「自治体アプリコンテスト」大賞作品表彰&プレゼンテーション  
ゴミ拾いアプリ「ピリカ」

13:30-14:00 (30分) 地域情報化研究コンソーシアム総会



<ディスカッション・ピリカのプレゼン>

### ◇「声明文」の概要: 首長の賛同により「地域情報化研究コンソーシアム(自治体ICTプロジェクト)」

(慶應義塾大学SFC研究所内)に参加できる。全国36自治体に参加、代表國領二郎総合政策学部教授。

- ①ICTの利活用を市民の目線で進め、真に市民生活の質の向上に寄与する情報化を進める
- ②市民の目線の利活用に向けた意見の集約につとめ、国の政策への反映をめざす
- ③相互にネットワークを構築し、地域の課題解決に繋がる事業に連携し、継続的に取り組む



<会場は満員>

## 全国自治体ICT サミット 声明文

我が国は、経済成長の低下や環境問題、少子高齢社会の到来など様々な課題に適切に対応し発展していく必要があり、地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくる、地域主権型社会の構築が進みつつあります。

このように、自治体を取り巻く環境や枠組みが大きく変化する中で、様々な分野において自治体の果たすべき役割はますます大きくなっており、社会的課題解決の切り札として、情報通信技術（ICT）に期待が集まっています。

そのため、自治体が直面する様々な行政課題や地域課題を解決するにあたり、地域の状況を反映した、真に住民に役立つICTの利活用を推進することが重要であり、国の政策決定過程においても、地域ごとにそれぞれ異なる状況を把握し、特徴ある取組を活かしていくことが求められています。

われわれ自治体は、ICT利活用のあるべき姿や行政が分担すべき役割を分析し、住民サービスの向上および行政事務の簡素効率化を推進するとともに、豊かで安全な市民生活の実現に向けて、以下の取組を連携・継続して進めることをここに呼びかけます。

- 一. 私たちは、ICTの利活用を住民の目線で進め、真に住民生活の質の向上に寄与する情報化を進めます
- 一. 私たちは、住民のICT利活用に関する意見の集約につとめ、国の政策への反映をめざします
- 一. 私たちは、相互にネットワークを構築し、地域の課題解決に繋がる事業に連携し、継続的に取り組みます

平成25年11月22日

阿部 裕行(多摩市長)  
和泉 聡(足利市長)  
猪股 洋文(加美町長)  
香川 武文(志木市長)  
片山 健也(二セコ町長)  
岸本 英雄(玄海町長)  
木村 俊雄(寒川町長)  
鈴木 恒夫(藤沢市長)  
田中 良(杉並区長)  
長友 貴樹(調布市長)  
橋本 祐輔(豊後大野市長)  
浜田 一義(安芸高田市長)  
藤澤 克(島牧村長)  
穂積 志(秋田市長)  
本田 敏秋(遠野市長)  
松井 一實(広島市長)  
山中 光茂(松阪市長)  
和田 慎司(小松市長)

五十嵐 忠悦(横手市長)  
市原 健一(つくば市長)  
大石 弘秋(仁淀川町長)  
笠間 城治郎(綾瀬市長)  
菊地 健次郎(多賀城市長)  
北里 耕亮(小国町長)  
草間 吉夫(高萩市長)  
武田 勝玄(河南町長)  
中田 勝久(南あわじ市長)  
西川 太一郎(荒川区長)  
服部 信明(茅ヶ崎市長)  
福島 弘文(小鹿野町長)  
布施 孝尚(登米市長)  
堀内 茂(富士吉田市長)  
牧田 久(美馬市長)  
森 博幸(鹿児島市長)  
横家 敏昭(白川町長)  
渡部 尚(東村山市長)

(五十音順)

立会人： 慶應義塾大学総合政策学部教授 國領二郎